

令和7年度第1回 長野市上下水道事業経営審議会 議事要旨

【開催日時】 令和7年7月11日（金） 13時30分～15時30分

【開催場所】 長野市役所第一庁舎7階 委員会室

【出席者】 審議会委員 15名（参集12名、リモート3名）

事務局 長野市上下水道局 14名

【公開区分】 公開

【議 事】

- （1） 上下水道局の組織及び今年度の審議スケジュールについて
- （2） 水道事業の概要について
- （3） 下水道事業の概要について
- （4） 上田長野地域水道事業の広域化について

事務局から説明

質疑応答

○ 委員

- ・ 水道事業広域化による効果について

デメリットになる部分についても詳しく示していただきたい。

- ・ 各市町（千曲市・坂城町・千曲市・長野市）で広域化への参加について判断すると思うが、参加しない市町村があれば残りの市町村で広域化するのか。

○ 事務局

- ・ デメリットになる点については、これから協議を進める中で市民の皆様等へ向けて説明をし、理解を深めていきたいと考えている。一例として、広域化によって細かな部分まで目が行き届かなくなるという部分もあると思うが、そういったリスクに対しては対策を考え、今後、事業計画案を作成していく中で回答していく予定である。上下水道局のホームページにも、今まで検討した市民からのご意見について回答しているので、是非ご覧いただきたい。

- ・ 水道事業広域化後は各市町村の水道事業について一部事務組合として事業を行う予定であるが、一部事務組合に加わらないということは想定しない中で協議を進めている。将来的に水道事業が非常に厳しくなっていく中で、水道事業を広域化することが有効な手段であるということで進めており、県及び各市町の事業を統合するということは経営をひとつにするということになり、それぞれ独自に経営したほうが良いというご意見もあるが、丁寧に説明を続け、広域化が必要だということへのご理解をいただきたいと考えている。どこかの自治体が加盟する、しないということについては結論がまだ出ていない。先延ばしにできない問題ですので議論を重ねてまいる所存である。事業の存続のために広域化は必要であると考えている。